

1 事業概要

事務事業名		人形劇のまちづくり事業		課名	文化会館	事業No.	335
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす			
	分野別計画		飯田市教育振興基本計画				
			飯田市文化芸術振興基本方針				
		人形劇のまちづくりを推進する新たな仕組みに関する方針					
法令・例規等							
事業目的		対象	市民				
		意図	人形劇フェスタのみならず、年間を通じて人形劇を鑑賞したり、体験したり、公演の企画運営をおこない、人形劇を通して文化芸術を楽しみます。				

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	<p>「人形劇フェスタ」だけでなく、保育園等への巡回公演や学校で行われる人形劇活動への支援、いいだ人形劇センターによる人形劇講座や人形劇公演を開催し、年間を通じて、市民が人形劇を鑑賞したり、演じたり、支えたりする機会を創出しました。</p> <p>H30年度は人形劇のまちが生まれて40年を記念して世界人形劇フェスティバルを開催しました。併せてAVIAMA総会、友好都市記念事業を開催し、人形劇の世界都市・飯田の魅力を国内外に発信しました。</p> <p>伊那谷の伝統人形浄瑠璃を次代に継承するため、後継者育成の取り組みや技術向上のための研修会を行いました。</p>		「人形劇のまち飯田運営協議会」活動支援他	653				
			「いいだ人形劇センター」活動支援負担金	11,000				
			人形劇図書資料の調査活用事業委託料	2,300				
			いいだ人形劇フェスタ開催事業負担金	62,165				
			人形劇公演事業負担金	3,308				
			人形劇創造支援事業費	2,823				
			人形劇のまち国際化推進事業費	10,649				
			伝統人形芝居振興補助金・施設管理委託料他	2,152				
			伊那人形芝居保存協議会負担金	500				
その他の経費			0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	ワッペンの販売数	枚	11,679	11,597	15,236			
	フェスタ期間中の観劇者数	人	39,512	41,647	60,649			
	フェスタ以外の人形劇公演観劇者数	人	11,057	12,687	12,441			
	人形劇創造活動への参加者数	人	1,987	2,087	1,482			
30年度 決算 (千円)	予算額	117,586	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	95,550	(国) 文化芸術振興費補助金 (1/2以内)					
	財源の 状況	国庫支出金	18,000	(そ) ふるさと寄附金 3,570千円				
		県支出金	0	(そ) 自治体国際化協会国際交流支援事業助成金 1,500千円				
		地方債	0					
		その他	5,070					
一般財源	72,480							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	7	13	1	14,015	13,953	人形劇のまちづくり推進事業費
2	1	10	5	7	13	4	79,000	62,165	いいだ人形劇フェスタ開催事業費
3	1	10	5	7	13	10	4,943	3,308	人形劇公演事業費
4	1	10	5	7	13	11	4,310	2,823	人形劇創造支援事業費
5	1	10	5	7	13	12	12,665	10,649	人形劇のまち国際化推進事業費
6	1	10	5	7	13	14	2,653	2,652	伝統人形芝居振興事業費
7									
振返り課題認識		いいだ人形劇センターによる年間を通しての人形劇講座や定期公演の開催により、人形劇を鑑賞したり演じたりする市民の数は増加しています。また、世界人形劇フェスティバルやAVIAMA総会の開催は、人形劇鑑賞や創造活動、フェスタの運営等への新たな参加のきっかけともなりました。これらの活動を継続し更に発展させていくためには、地域の中に指導者となる人材を育成することや、若者やシニア世代など幅広い市民層に人形劇の魅力を伝えていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		人形劇講座や定期公演を継続し、今後も市民が人形劇に触れる機会を提供していくことが重要です。また、観光や産業、教育、福祉など他分野と連携し、様々な市民層が人形劇との接点を持つような事業を企画することも大切です。更に、飯田発の人形劇や飯田の取り組みを全国・世界に発信し、外からの注目や評価を集めることも有効だと考えます。							
次年度に向けての取り組み		これまで以上に幅広い市民層に人形劇に関わってもらえるように、新たに、人形劇を活用した教育普及事業や観光振興事業に取り組みます。また、AVIAMA加盟都市や人形劇で交流する地域との交流事業や連携事業を行い、人形劇を通じたネットワークを強化し、飯田の人形劇文化を全国・世界に発信します。							